

現金ケースを持ち上げる動作をサポートするマッスルスーツ（1日、大東銀行の事務センター）



マッスルスーツ

職員の負担軽減

大東銀が導入

マッスルスーツは背負うように装着して腰への負荷を抑えるもので、マ

大東銀行は1日、筋力補助装置「マッスルスーツ」1台を、福島県郡山市内の事務センターに導入した。重い現金ケースを繰り返し運ぶ職員の負担を軽くするもので、福島県内の金融機関では初の試み。30キログラムのケースなら10キログラムのものと同じ感覚で持ち上げられるという。約80万円の購入費のうち約45万円は、ロボット産業の集積をめざす県から助成を受けた。

ウスピースで呼吸を送り人工筋肉を動かす仕組み。東京理科大学発のベンチャー、インフィス（東京・新宿）が開発し、菊池製作所が福島県内で製造した。同行は「試験段階だが、女性が多い職場環境の改善につながる」と期待している。